



平成22(2010)年8月23日(月)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama-clinic.jp

夏休み終盤の頃

院長 中山 茂樹

全く暑い夏、みなさん夏バテしていらっしゃいませんか。

15年ほど前、両親と夫婦で九州に行った折、父と一緒にビールを飲み過ぎて、一夏、夏バテで大変苦しい思いをしたことがあります。それ以来、夏でも冷たい飲み物は極力摂らないようにしています。よって以来、夏バテはしていません。

「ちりとてちん」が月曜日の深夜、BSで再放送されているので楽しく見えています。経済が落ち込んでいるので地方の小さな市はある程度毎年何かキャンペーンを打たないと、往時の観光だけでは人が押し寄せることを期待できないのでしょうか。また、一方、経済は10年、25年、50年の先を見た何らかのビジョンをもっていないと地方都市、特に日本海側はこれからさらに大変だと思います。それは、道路がこれから益々整備されるとパセンジャーが増え、特に若者は一泊せずに日帰りが増えるでしょう。何か足止めができるものがないといけません。足を止めるのは高齢者、老人ということになるのかも知れませんね。社会全体の老齢化のなかでこの視点で、先を見通したビジョンが要るような気がします。

さて、話は変わりますが、愚息が中一ですが、夏休みの宿題をちゃんとやっている（家内にうるさく言われているせいもあるのでしょうか）のは驚きです。私が小中の頃は9月に入ってから提出までの2～3日でぎゃーぎゃー一言ってやっていました。8月29日からの1週間が大変な日々であったのを覚えています。（私より母親が大変だったのかも知れません。）

どうも、今は何かにつけてまじめ過ぎますね。宿題をしていかないと落ちこぼれなんですか。じゃー私はずうと、落ちこぼれだったんですか。（本人は自覚がなかったようです！）しかし、息子の教科書を見て、かつては中学2年か3年でしたのを今は中一でやっているのかというような感想を持ちました。（息子の勉強が結構難しいことをやたらに覚えなければならぬように思えたのです。）

あくまで、私の勝手な感想ですが、勉強とは科学的なことなら、まず、本人が何故だろう、ということを考え

させたり、古文や英語などの文化系ならどう解釈するかを考えたりすることを大事にしたら面白いのにとっています。

私の大学時代は教授がいかにか自分にしか話せない面白い話をするか、を楽しみにしていました。だから、教科書をただ読んでいくような授業をする教師の話は聞かなくて寝ていました。（二日酔いだったのかも）。大学に入ったのだから、教養ある人にはどんな生活があるのか、を聞かせるのが授業だと思っていました。

教科書通り、出来事や事柄の丸覚えを強要される勉強はごめんなのですが、今の中高も大学ももうそんなことはないのでしょうか。

《 ご 案 内 》

当院ホームページについて

インターネットで当紙タイトル上にあるアドレス（nakayama-clinic.jp/）を検索して頂きますと当院のホームページが開きます。そこには

院長あいさつ 総合案内 診療科目 入院案内
各種クラス案内 スマイルタイムズ アクアarium
ショウウインドウ Q&A

の9項目のウインドウがありますのでそのどれかをクリックして頂きますとその項目の中身に入れます。このうち「スマイルタイムズ」は当紙のことで、平成8（1996）年4月の1号（創刊号）から、この号（173号）まで全部が掲載されています。

また、ぜひご覧いただきたいのは「Q&A」（質問と回答）のウインドウです。副題は“体に関する質問などを随時受け付けております”となっていて、

小児科 内科 婦人科 産科 不妊相談 その他
の項に分けて、Q（質問）を受け付けています。それに対し、小児科・内科は真里子Dr.が、婦人科・産科・不妊相談は院長が、A（回答）をしております。《但し、小児科の場合、急いで返信を要するもの（お子様の急変についての問い合わせ）はお応えし兼ねる場合があることをご承知下さい。》

そして、8/20現在

小児科：258	内科：9	婦人科：661
産科：573	不妊相談：274	その他：60
計 1835		

のご相談を受け付けました。これらご相談に院長と真里子Dr.は貴重な時間を割いて誠実に回答しております。

自分で疑問に思われる症状や事柄がありましたら、先ずはこのウインドウを開いてそこからよく似た質問を探して頂けるならば、きっとその回答を見つけることが出来るのではないかと思います。